

第 136 回サイエンス・カフェ札幌

## 「プラネタリウムと万博から見る『未来』の作られ方」を開催

### 【概要】

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）は、第 136 回サイエンス・カフェ札幌「プラネタリウムと万博から見る『未来』の作られ方」を開催します。アメリカ地域研究を専門とする土田映子さん（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）をお招きし、大規模イベントや大衆文化が人々の未来像の認識やアイデンティティ形成に与える影響について考えます。

### 【趣旨】

いよいよ来年は大阪・関西万博の開幕です。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」とのことですが、実は万博にテーマが設定されたのは、1933 年のシカゴ万博がはじめてです。

その名も「進歩の一世紀」。

科学・技術を来場者に見せることで、「未来がどんなものを生み出すか」を考えさせる展示がなされていたそうです。たとえば開幕時には、遠い星から届く光を天文台でとらえ、電気に変換して送電し、万博会場の照明スイッチを作動させるという演出がありました。

プラネタリウムもまた、その「テクノロジーのユートピア」ともいわれるような未来像を見せる場の一つでした。というのも、アメリカ初のプラネタリウムは、この万博の 3 年前に作られ、会場のなかに組み込まれていたのです。

本サイエンスカフェでは、アメリカ地域研究を専門とする土田映子さんをお招きし、こういった大規模イベントや大衆文化が人々の未来像の認識やアイデンティティ形成に与える影響について考えます。

万博は私たちが未来を見るための場なのか、はたまた私たちに未来を見せるための装置なのか…

私たちが見る未来はいったい誰にとっての未来なのか…

過去の万博の記録を見ながら、時空を超えた未来像の広がり思いを馳せましょう！

【タイトル】 第 136 回サイエンス・カフェ札幌  
「プラネタリウムと万博から見る『未来』の作られ方」

【日 程】 2024 年 7 月 28 日（日）18 時 30 分～20 時 00 分（開場 18 時 00 分）

【場 所】 札幌市青少年科学館 プラネタリウム（札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 2-20）

【話 者】 ・土田映子／北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 教授  
・宮本道人／北海道大学大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター  
科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 特任助教

・朴 炫貞／北海道大学大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター  
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任講師

**【主催】** 北海道大学大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)

**【共催】** 慶應義塾大学 SF センター

**【協力】** 札幌市青少年科学館

**【後援】** ポストヒューマン社会のための想像学

**【対象】** 一般市民

**【募集人数】** 先着 60 名

**【参加費】** 無料 (申し込み不要)

**【言語】** 日本語 (同時通訳なし)

**【申込方法】** 事前申し込み不要

当日直接会場までお越しください。

**【備考】** ・星空の投影上映はございません。

・会場での飲食は厳禁です。

・開始後の入場はできません。

#### お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教 宮本道人 (みやもとどうじん)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

メール miyamoto@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/30703>

#### 配信元

北海道大学社会共創部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp